



**ONOKEN** 

**2020年3月期  
決算説明資料  
小野建株式会社**

- 1 2020年3月期連結決算の総括、連結損益計算書、販売管理費
- 2 セグメント別業績、連結貸借対照表
- 3 品種別販売状況、品種別販売・在庫推移、建機商品・工事売上金額の推移
- 4 小野建の取り組み、設備投資
- 5 株主還元、新型コロナウイルスの影響と今期業績予想について

## 将来の見通しに関する注意事項

資料に記載されている内容につきましては、種々の前提に基づいたものであり、将来の計画数値、施策などに関する記載については、不確定な要素を含んだものであることをご理解ください。

# 2020年3月期総括 前々期および前期との差異（連結）



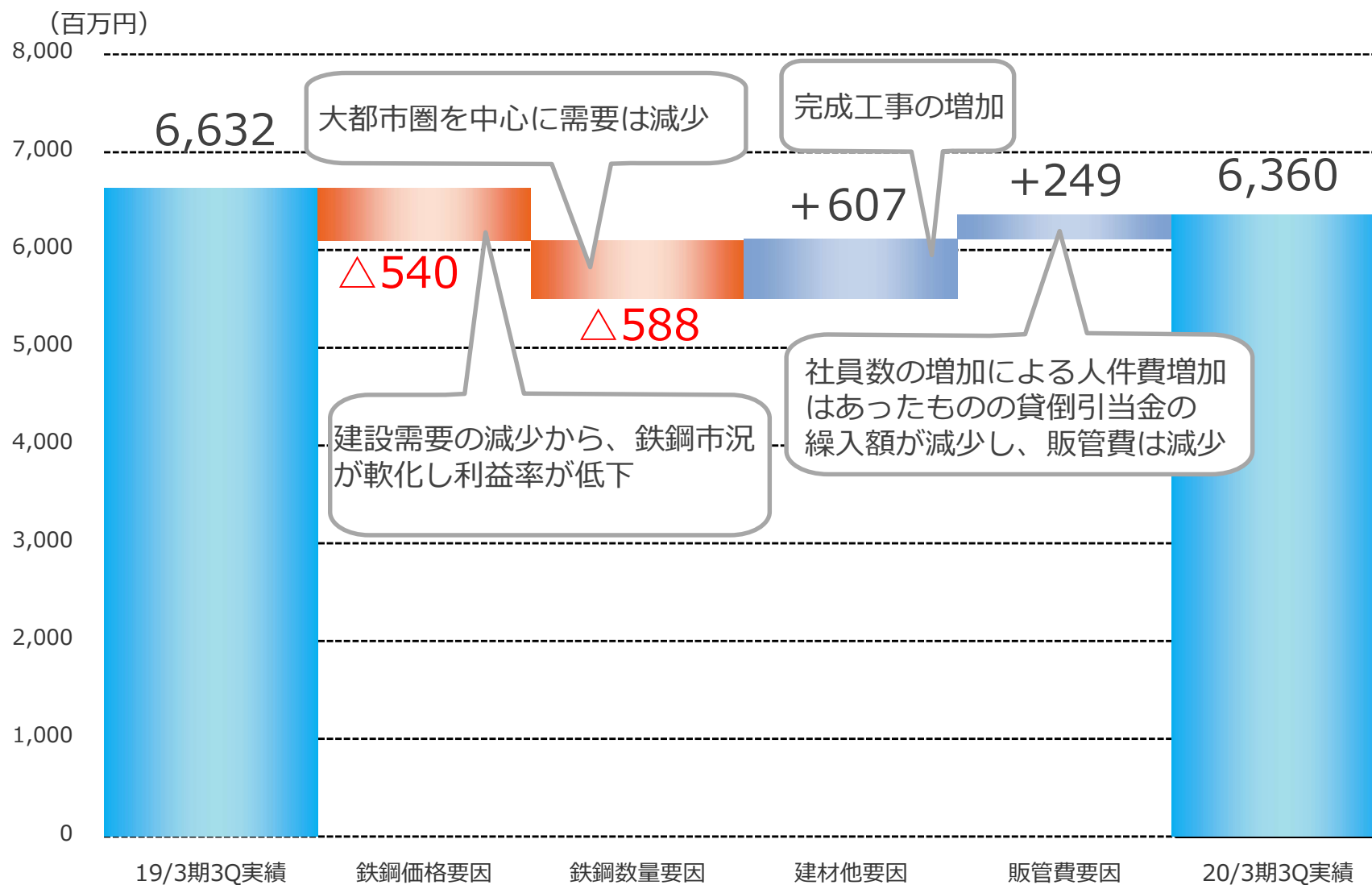
(百万円)

	18/3期 実績	19/3期 実績	20/3期 実績	前期比	
				増減	増減率
売上高	203,151	232,164	229,290	△ 2,874	△ 1.2%
売上総利益	19,215	20,209	19,688	△ 521	△ 2.6%
営業利益	6,980	6,632	6,360	△ 272	△ 4.1%
経常利益	7,190	6,680	6,527	△ 153	△ 2.3%
親会社株主帰属 当期純利益	5,025	4,664	4,416	△ 248	△ 5.3%

売上高は3期ぶりの減収

営業利益、経常利益、当期純利益は2期連続の減益

# 2020年3月期総括 営業利益/前年同期比変化要因 (連結)



# 損益計算書（連結）

	18/3期 実績	19/3期 実績	20/3期 実績	(百万円) 前年比 増減率
売上高	203,151	232,164	229,290	△ 1.2%
売上原価	183,936	211,955	209,601	△ 1.1%
売上総利益	19,215	20,209	19,688	△ 2.6%
販売費及び一般管理費	12,235	13,576	13,328	△ 1.8%
営業利益	6,980	6,632	6,360	△ 4.1%
営業外収益	302	286	341	+ 19.2%
営業外費用	92	238	174	△ 26.9%
経常利益	7,190	6,680	6,527	△ 2.3%
特別利益	403	428	14	△ 96.7%
特別損失	335	3	117	+ 3,800%
税引前当期純利益	7,258	7,105	6,424	△ 9.6%
法人税等合計	2,232	2,441	2,008	△ 17.7%
親会社株主当期純利益	5,025	4,664	4,416	△ 5.3%

## 販売管理費（連結）

(百万円)

	19/3期実績	20/3期実績	前年比増減
販売費及び一般管理費	13,576	13,328	△ 1.8%
運賃	4,318	4,401	+ 1.9%
貸倒引当金繰入額	753	16	△ 97.9%
人件費	4,432	4,671	+ 5.4%
租税公課	466	485	+ 4.1%
減価償却費	1,299	1,354	+ 4.2%
その他	2,311	2,401	+ 3.9%
売上原価内の減価償却	529	477	△ 9.8%

- ・ 人員の増加により人件費の増加
- ・ 前期発生した貸倒引当金繰入額の減少
- ・ 減価償却費はほぼ前年並み

# セグメント別業績推移(連結)

(百万円)

		18/3期 実績	19/3期 実績	20/3期 実績
九州・中国 エリア	売上	115,041	128,337	137,075
	利益	4,207	4,405	4,392
関西・中京 エリア	売上	48,571	58,250	51,289
	利益	1,337	1,339	1,077
関東・東北 エリア	売上	39,538	45,576	40,924
	利益	1,427	909	818

売上高は「外部顧客への売上高」を記載

# 貸借対照表（連結）

※主要項目のみ記載しております	19/3期 実績	20/3期 実績	増減	増減率 (百万円)
<b>流動資産</b>	108,673	100,013	△ 8,660	△ 8.0%
現金及び預金	5,725	5,292	△ 433	△ 7.6%
受取手形及び売掛金・電子記録債権	72,424	62,791	△ 9,633	△ 13.3%
商品及び製品、原材料及び貯蔵品	24,722	21,411	△ 3,311	△ 13.4%
前渡金	5,769	10,382	+ 4,613	+ 80.0%
<b>固定資産</b>	49,944	53,584	+ 3,640	+ 7.3%
有形固定資産	47,908	50,911	+ 3,003	+ 6.3%
<b>資産合計</b>	158,618	153,598	△ 5,020	△ 3.2%
<b>流動負債</b>	88,051	75,628	△ 12,423	△ 14.1%
支払手形及び買掛金・電子記録債務	45,411	41,766	△ 3,645	△ 8.0%
短期借入金	35,951	22,250	△ 13,701	△ 38.1%
前受金	2,834	6,170	+ 3,336	+ 117.7%
<b>固定負債</b>	2,034	7,809	+ 5,775	+ 283.9%
社債	—	6,029	+ 6,029	—
長期借入金	287	34	△ 253	△ 88.2%
<b>負債合計</b>	90,086	83,437	△ 6,649	△ 7.4%
株主資本	68,191	70,077	+ 1,886	+ 2.8 %
<b>純資産合計</b>	68,531	70,160	+ 1,629	+ 2.4%
<b>負債・純資産合計</b>	158,618	153,598	△ 5,020	△ 3.2%



# 品種別販売状況（小野建単体）



（百万円・千トン・% 単価は円/Kg）

		18/3期 実績		19/3期 実績		20/3期 実績		前年比 増減率
鉄鋼商品販売事業	鋼板類	49,993		56,467		54,131		△ 4.1%
	販売数量・単価	661	75.63	656	86.08	651	83.15	△ 0.8%
	売上総利益	4,297		4,164		3,752		△ 9.9%
	利益率	8.6		7.4		6.9		△ 0.5P
	条鋼類	67,462		78,521		74,437		△ 5.2%
	販売数量・単価	730	92.41	765	102.64	711	104.69	△ 7.1%
	売上総利益	7,852		8,275		7,923		△ 4.3%
	利益率	11.6		10.5		10.6		+ 0.1P
	丸鋼類	22,645		29,096		28,805		△ 1.0%
	販売数量・単価	360	62.90	395	73.66	389	74.05	△ 1.5%
	売上総利益	1,186		1,414		1,358		△ 4.0%
	利益率	5.2		4.9		4.7		△ 0.2P
小計	売上高	140,100		164,084		157,373		△ 4.1%
	販売数量・単価	1,751	80.01	1,816	90.35	1,751	89.88	△ 3.6%
	売上総利益	13,335		13,853		13,033		△ 5.9%
	利益率	9.5		8.4		8.3		△ 0.1P

## 品種別販売状況（小野建単体）

(百万円)

		18/3期 実績	19/3期 実績	20/3期 実績	前年比 増減率
販売事業	建設機材商品	13,972	15,210	15,769	+ 3.7%
	売上総利益	628	744	738	△ 0.8%
	利益率	4.5	4.9	4.7	△ 0.2P
工事請負	建設機材工事	33,819	38,286	40,669	+ 6.2%
	売上総利益	2,517	2,771	3,199	+ 15.4%
	利益率	7.4	7.2	7.9	+ 0.7P
貸等事業	その他事業収入	713	734	730	△ 0.5%
	売上総利益	380	462	479	+ 3.7%
合計	売上高	188,606	218,317	214,547	△ 1.7%
	売上総利益	16,860	17,830	17,449	△ 2.1%

- ・ 工事請負分野は、契約残物件の完工が予定通り進行  
21/3期は大型案件の受注残はあるものの、新規中小型案件の引合いは減少気味

## ◆全業種（特に鉄骨加工など）において人手不足

素材購入→部品購入→溶接組立加工

### ●当社の取り組み

- ・物流拠点の新增設の推進
- ・取引先のニーズ多様化に対応し  
素材販売→一次加工品（切断・穴あけなど）販売強化  
在庫品種ならびに新增設を含め加工設備を拡充
- ・鋼板加工分野にも着手

## ◆運転手不足・燃料高騰による物流コストの上昇

### ●当社の取り組み

- ・福岡、大阪、東京（浦安・川崎）などの中心的物流センターを活用し  
周辺地域の物流センターの展開によるジャストインタイムでの納入体制を強化
- ・自前でのトラック便の拡充

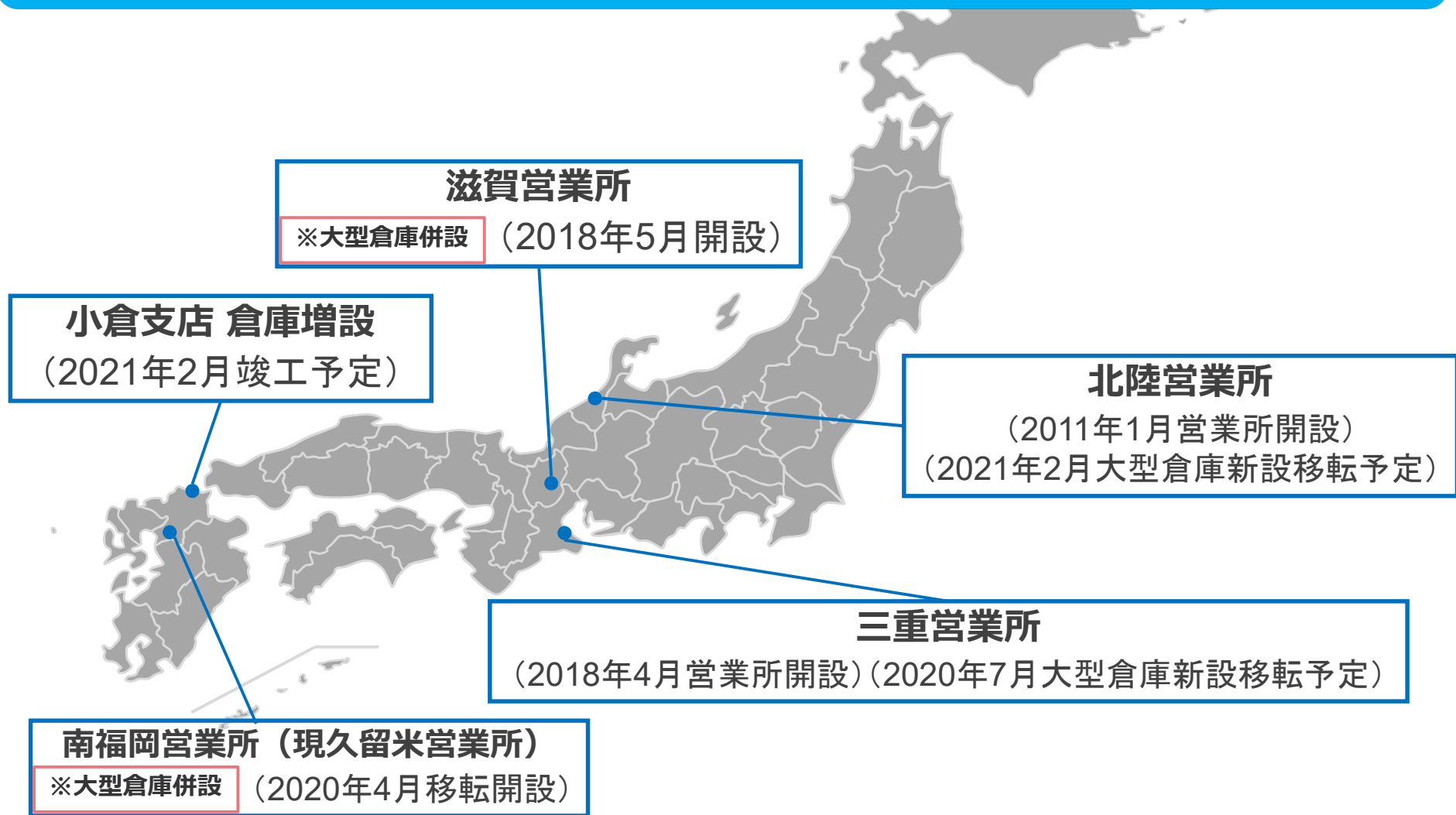
## ◆建材メーカーの体制変化

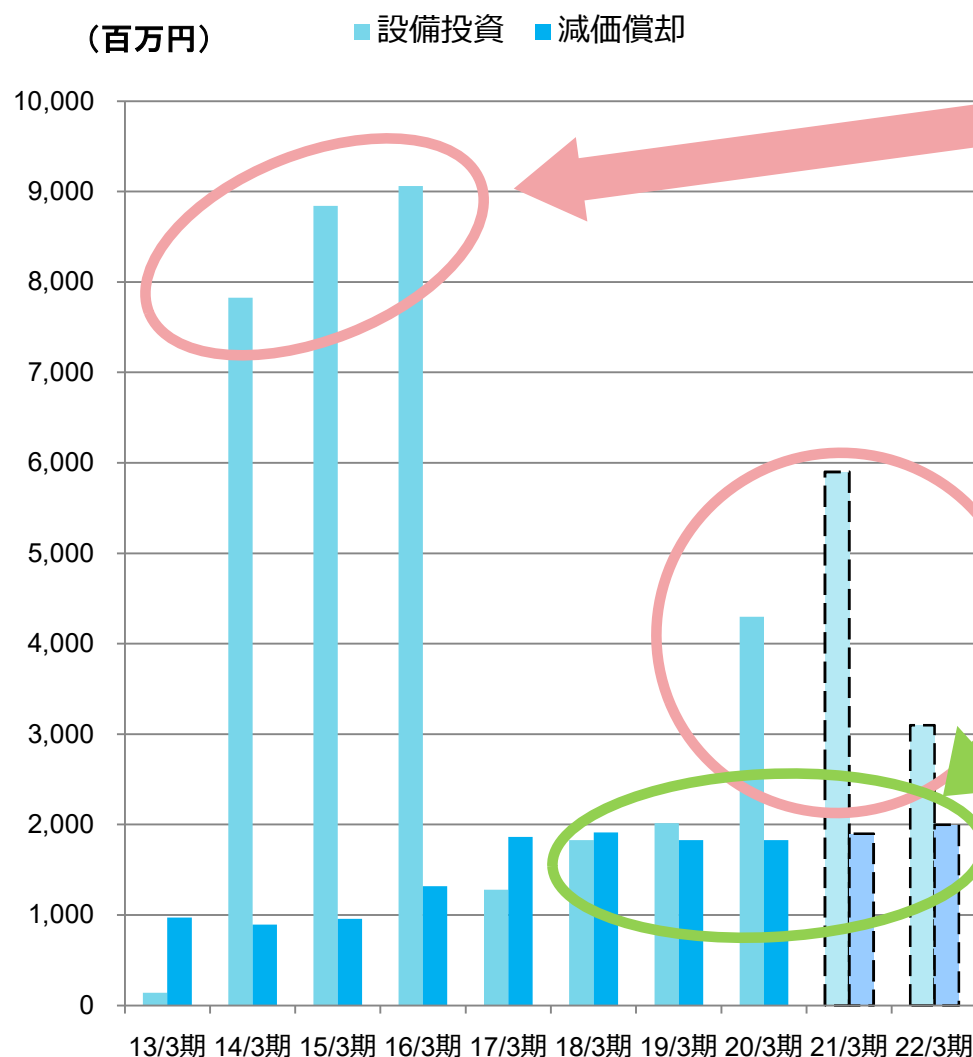
メーカーの工事一式請負から材料販売へシフト

### ●当社の取り組み

- ・専門工事技術者及び施工監理技術者の養成強化（現在監理技能者99名：対前年+38名）
- ・販売先でもある鉄骨加工業者とネットワークを作り、鉄骨工事請負の拡大
- ・その他工事請負業務の拡大

中長期的に各地域に根差し、地域と共に発展する全国ネットワーク企業を目指す



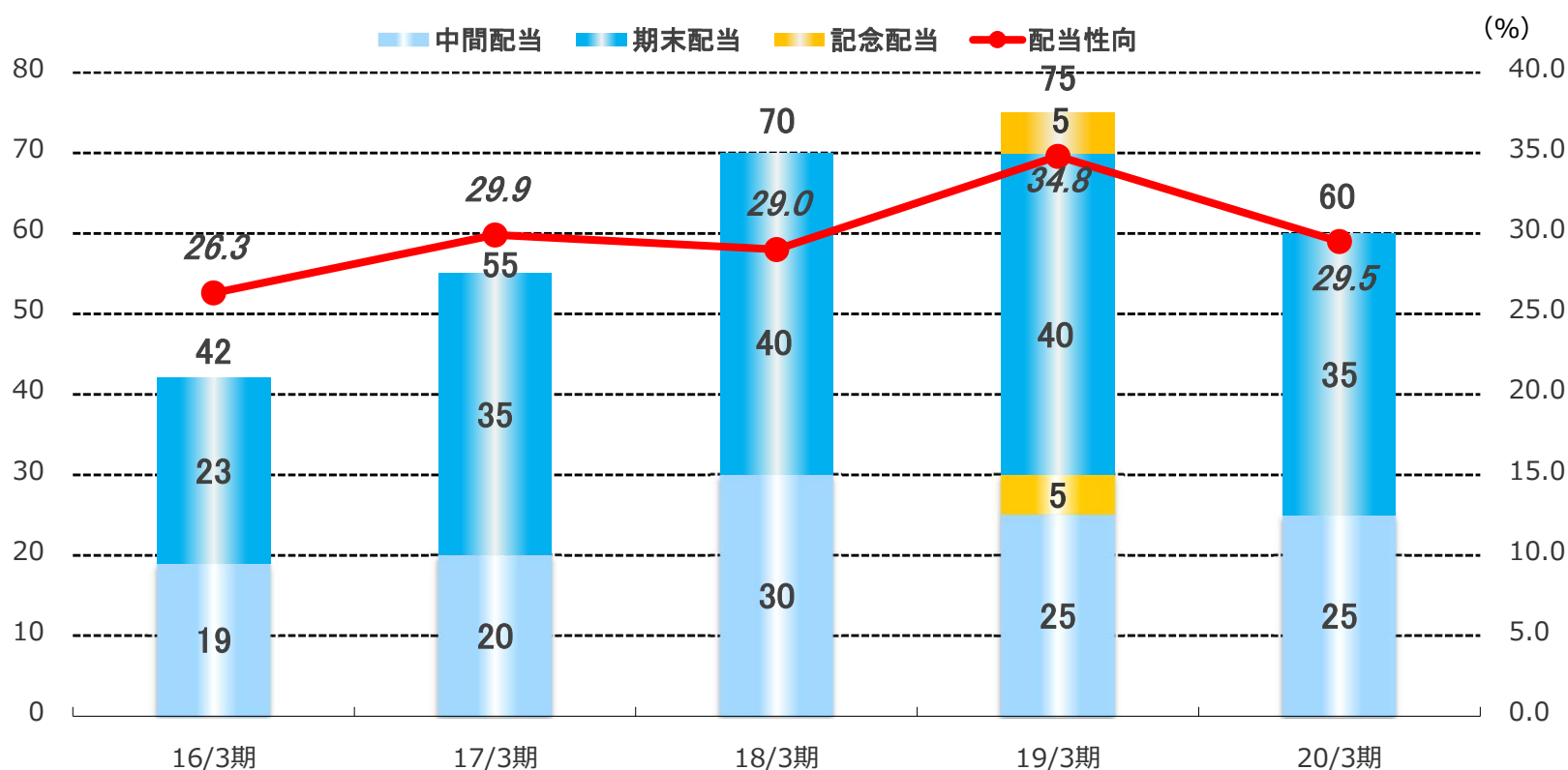


- ・ 今後10年を見つめて3年間で約260億円の設備投資を実施
- ・ 16/3で一段落したものの近年加工設備拡充のための設備投資金額が増加傾向
- ・ 減価償却費はほぼ横ばいで推移する予定



**加工設備の充実により  
安定的な収益向上**

# 業績連動ながら連結配当性向30%を基本に安定かつ 高い水準の利益還元を継続



## ◆仕入先からの調達遅延

- ・ 輸入商品の商談ならびに納期の遅延
- ・ 建材商品の部品調達（主に中国）遅延による工事完工遅延

## ◆輸出関連企業をはじめ販売先の業績低迷による販売の減少

- ・ 特に大都市圏での影響は甚大かつ長期化の様相

## ◆建設工事の中断、遅延ならびに中止

- ・ 施工中物件の中断→主に大手ゼネコンを中心に5月連休明けまで一旦中断
- ・ インバウンドの減少により、計画中のホテルなどの着工延期、中止
- ・ 着工予定および着工済み大型案件は、工事は進行するものの工期の延長懸念
- ・ 公共工事は建築、土木ともに予定通りに発注見込み

## ◆鉄鋼商品市況の需要低迷による下落

- ・ 前下半期から市況は軟調に推移しており、今後も下落傾向

## ◆不良債権発生リスクの増大

上記状況の中で、特に上半期においては、外部環境変化が見通せず、業績予想の公表を見送りましたが、中間期以降につきましては、新型コロナウイルスの影響を十分に精査し、業績予想を作成する予定としております。





商号	小野建株式会社
設立	1949年8月
代表者	小野 建
資本金	42億9,980万円
連結売上高	2,292億9,000万円
従業員	757 人(連結)
上場取引所	東京①・福岡(7414)
本社	福岡県北九州市
業種	鉄鋼・建材流通商社
主な事業内容	鋼材の販売・加工 土木建築材料の販売 土木建築工事の請負



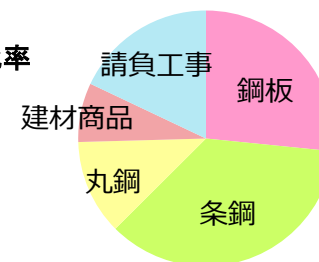
小野建株式会社本社 小倉支店



小倉支店 倉庫内

# 取扱品種

売上比率



## 鉄鋼商品

### 鋼板

鉄を板状にしたもの  
工事現場の敷板等に用いられる



### 条鋼

型鋼とも呼ばれ、色々な形に  
成形したもの  
建物の骨組等に用いられる



### 丸鋼

鉄を丸い棒状にしたもの  
建物の基礎等に用いられる



## 建材商品

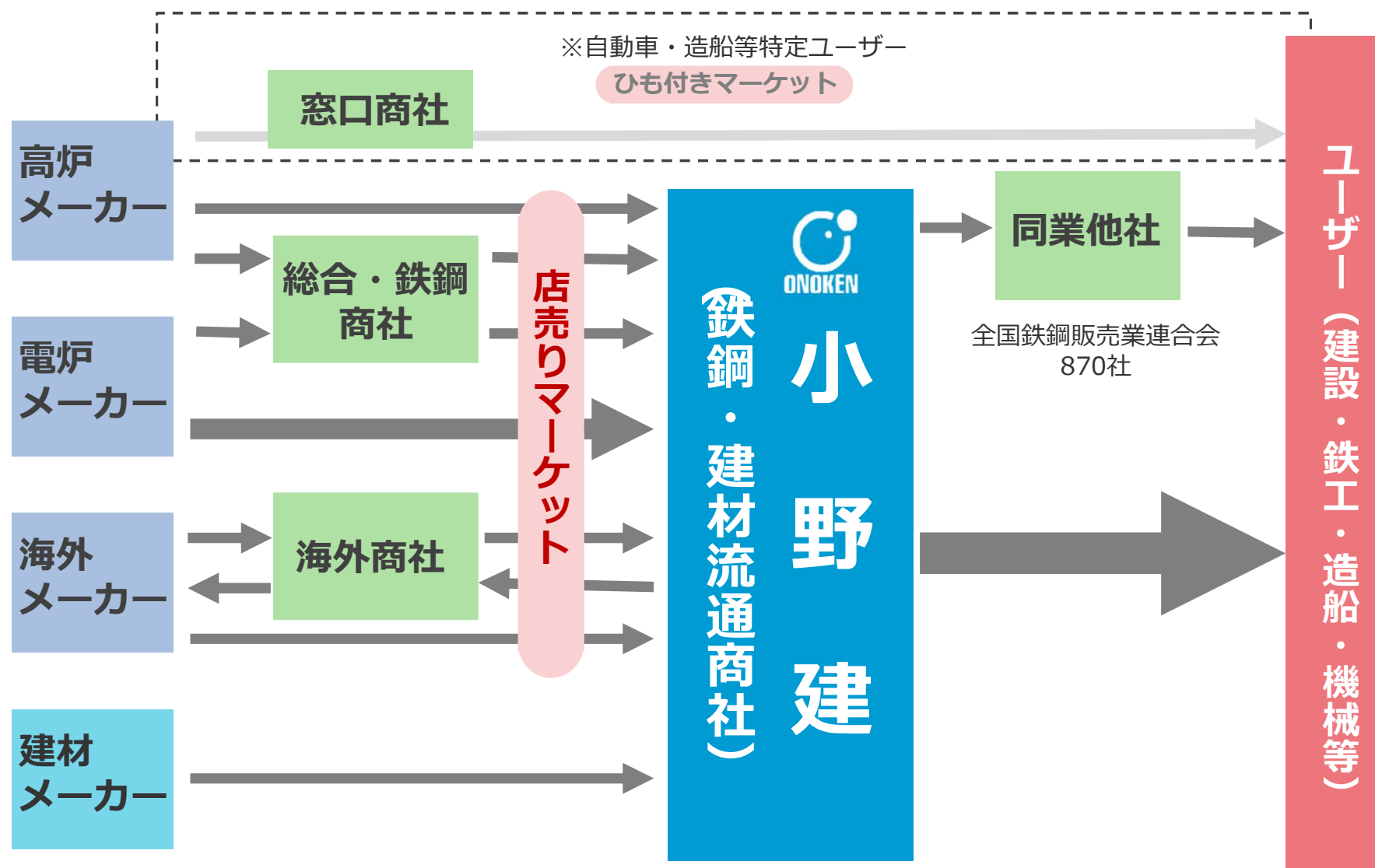
土木・建築工事に  
使用される材料  
鋼矢板・屋根・  
フェンス・サッシ  
等  
写真はフェンス、  
鋼矢板



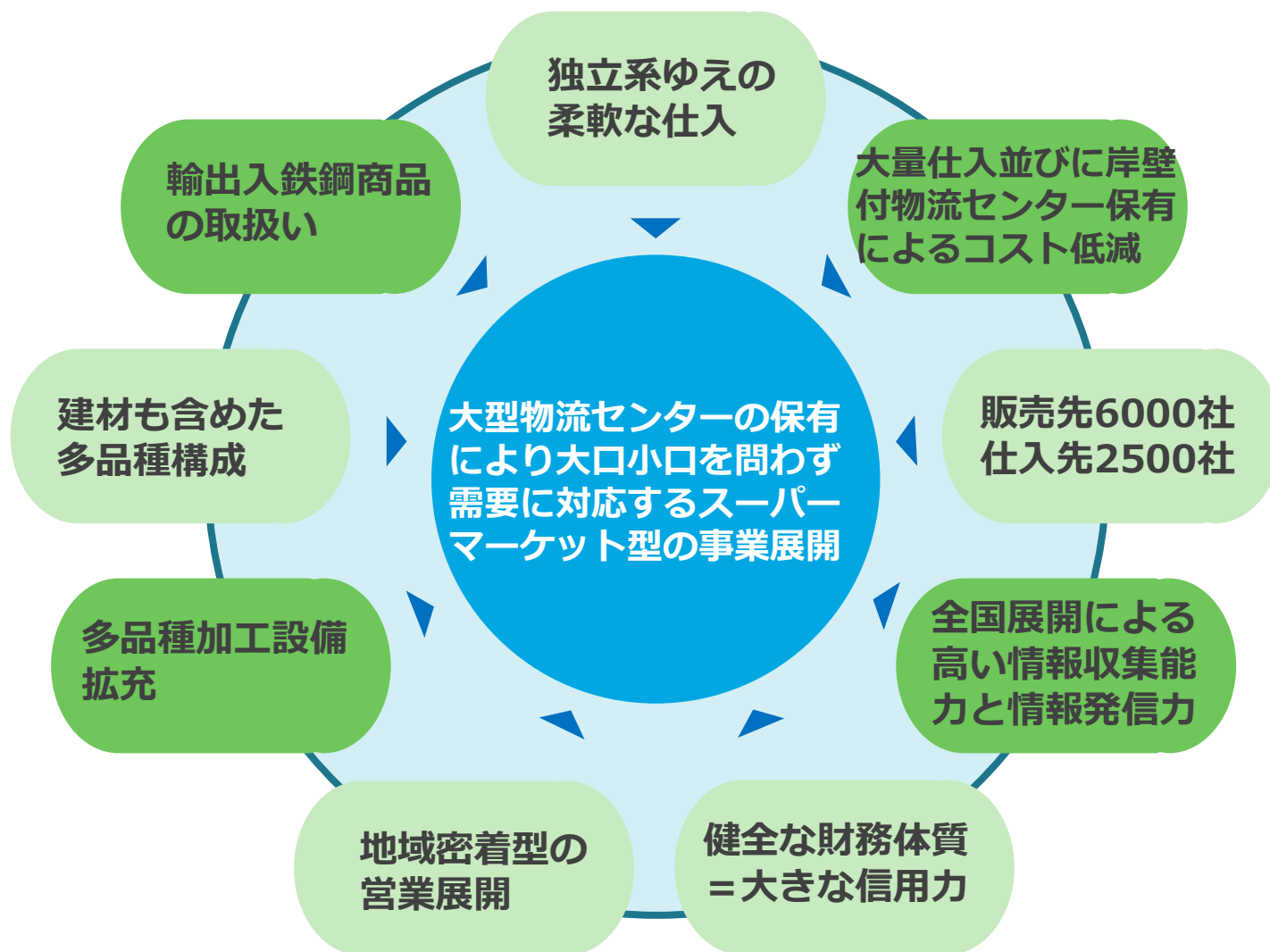
## 工事請負

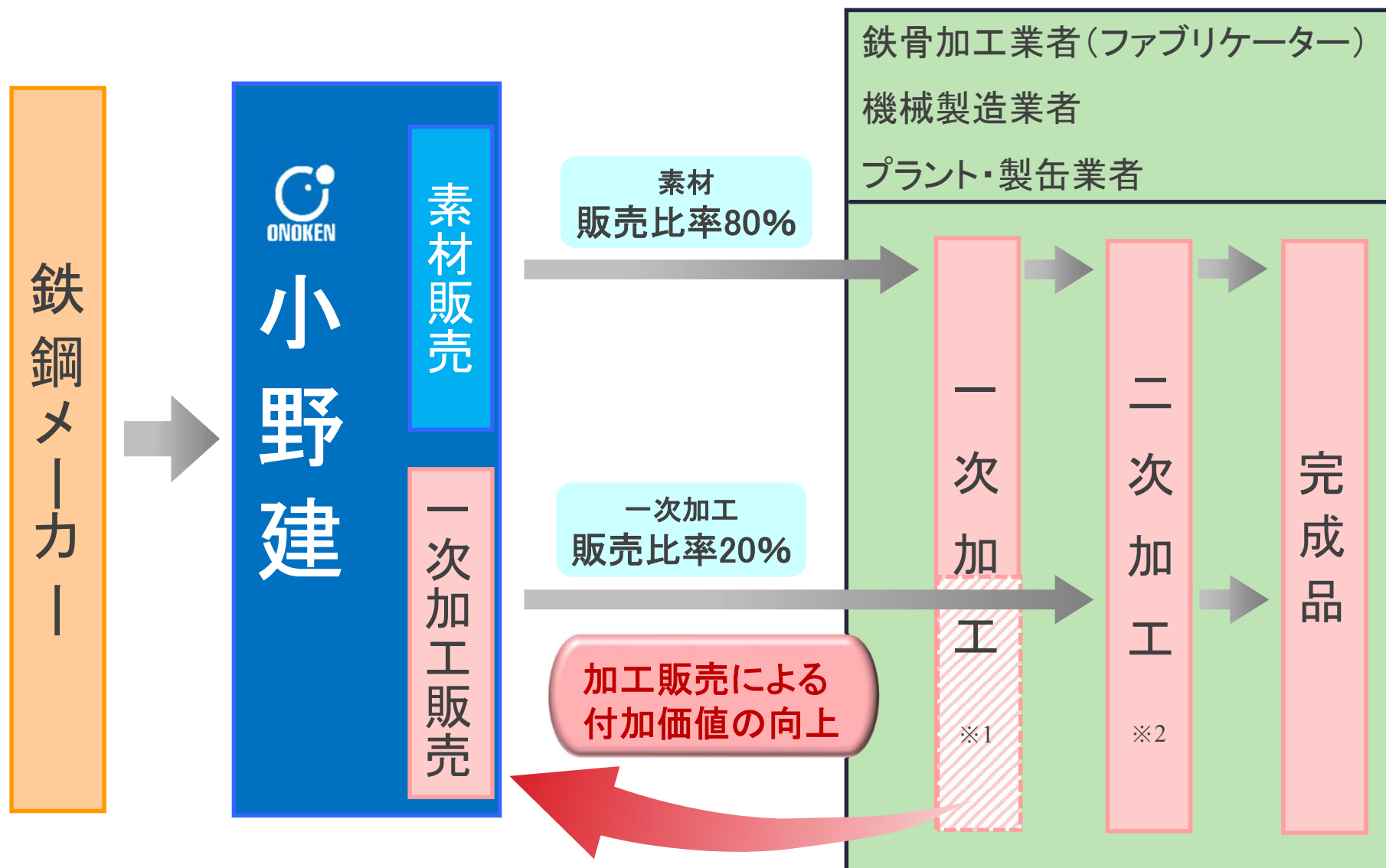
鉄骨工事  
屋根工事  
外壁工事  
サッシ工事  
杭工事 など





物流センターを活用した「鉄と建材のスーパーマーケット」

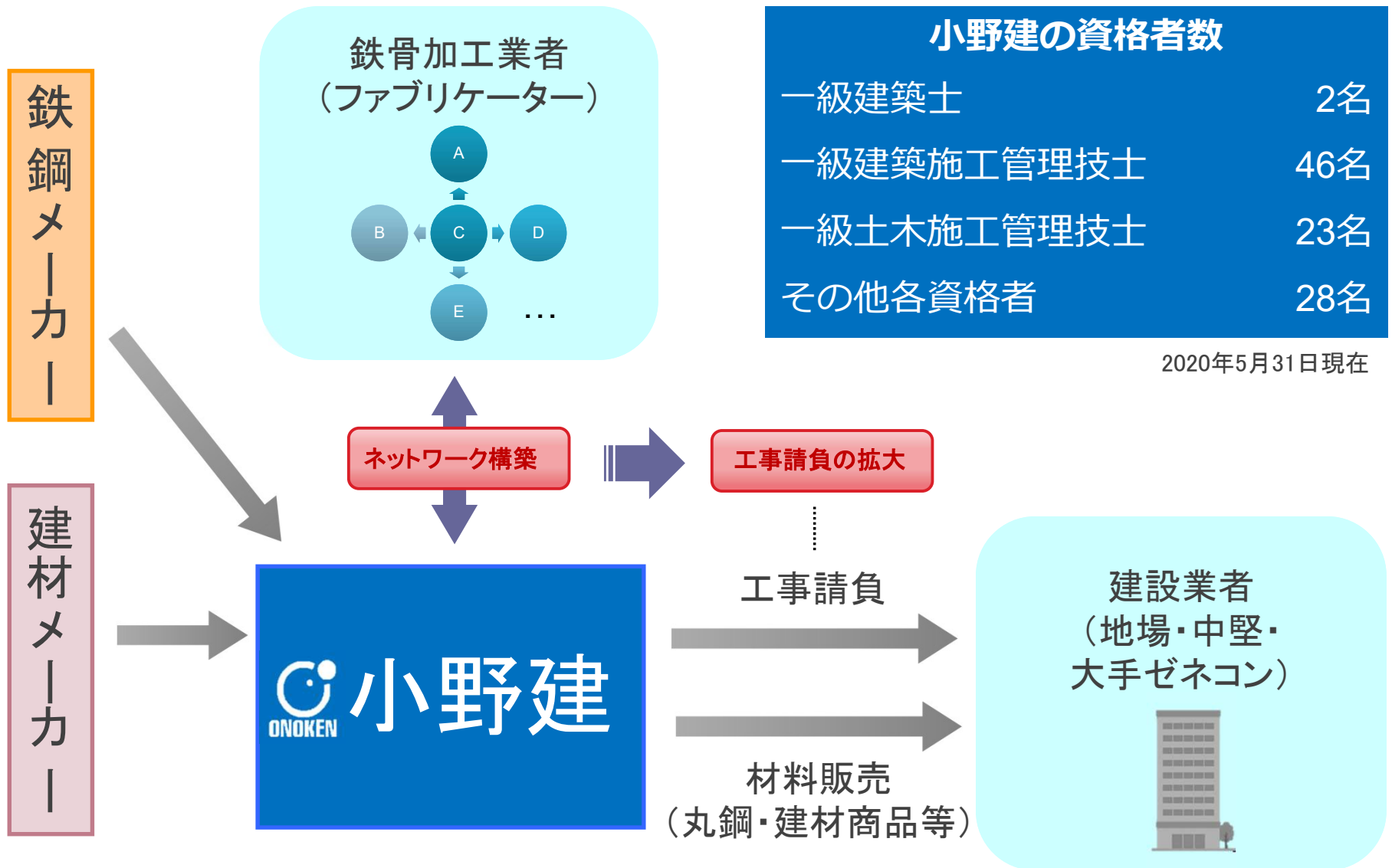




※1一次加工・・・素材を販売ニーズに合わせ、切断・穴あけ等の加工

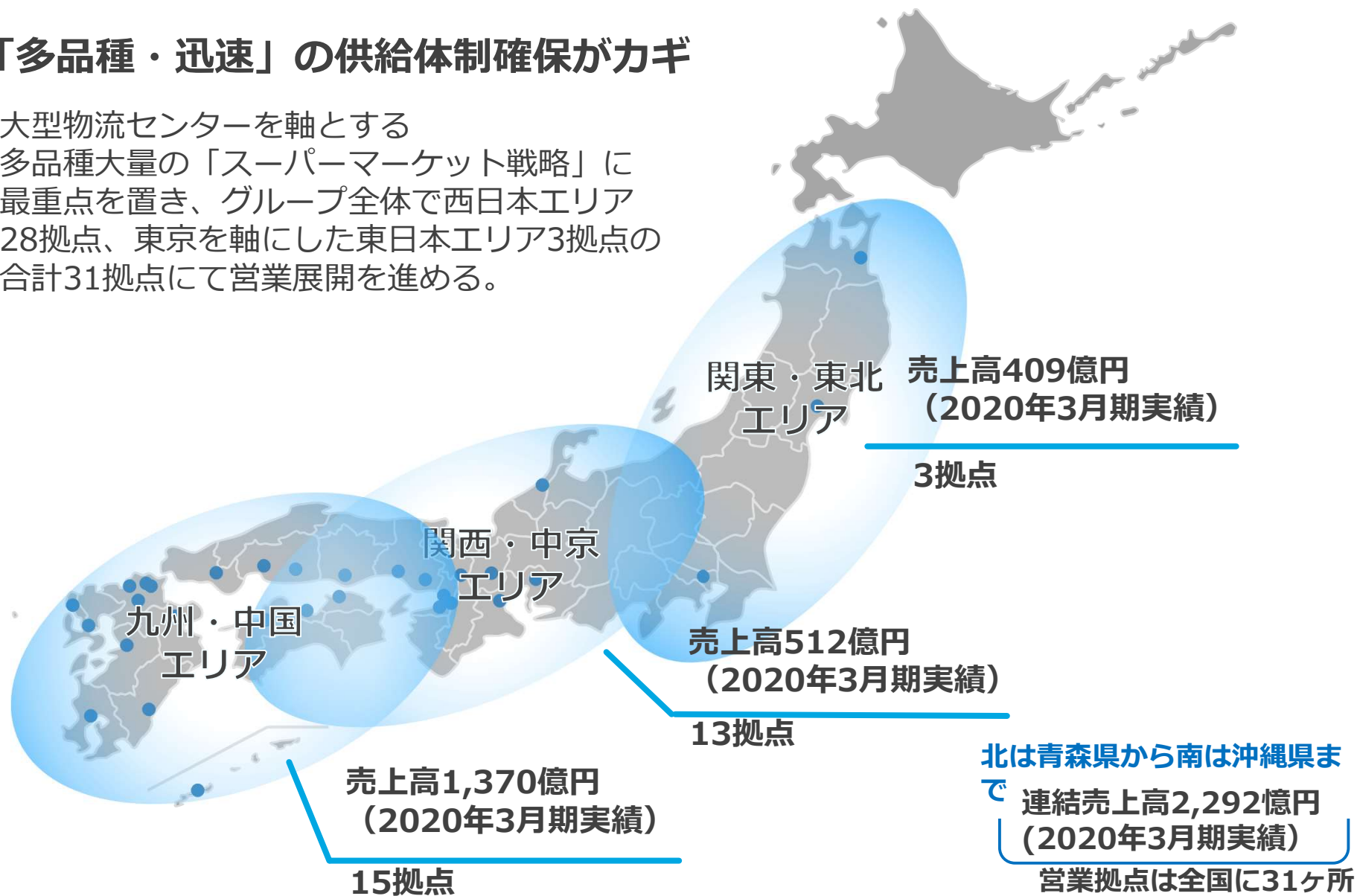
※2二次加工・・・一次加工品に組立・溶接・塗装等の加工

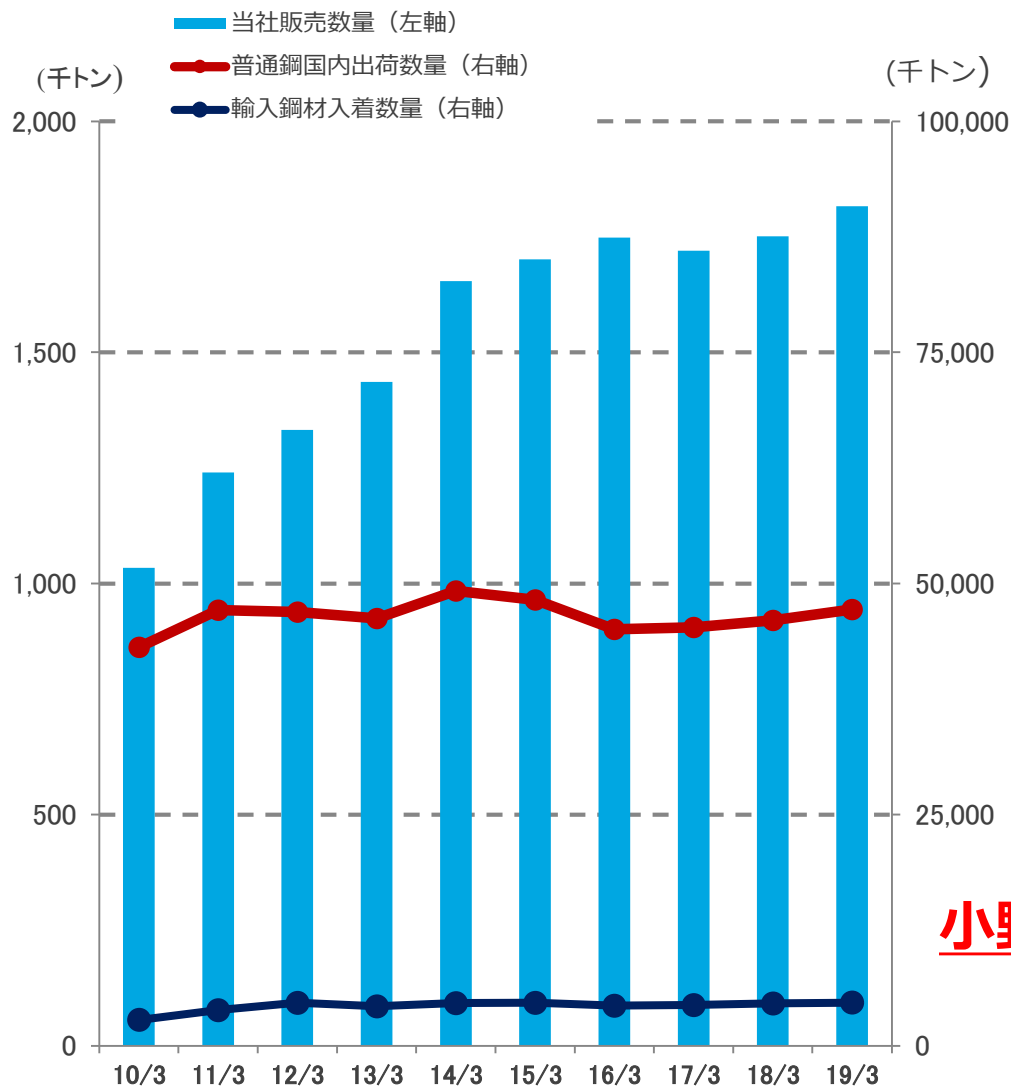




## 「多品種・迅速」の供給体制確保がカギ

大型物流センターを軸とする多品種大量の「スーパーマーケット戦略」に最重点を置き、グループ全体で西日本エリア28拠点、東京を軸にした東日本エリア3拠点の合計31拠点にて営業展開を進める。





※日本鉄鋼連盟資料より当社作成

## 市場との比較

- 普通鋼国内出荷数量は、近年横ばいの傾向にある中、当社の販売数量は順調に増加
- 全国と同業者約700社の中でトップシェアながら現在3%程度今後もエリアを拡大し、販売数量を伸ばす

今後人口減少等により市場は縮小していくことが予想されるが、

**小野建の強みを活かして勝ち残りへ**



### ● 付加価値の向上の為、加工設備の拡充と物流センター新設の促進

- 加工商品販売に注力し、今後販売比率を高め、他社との差別化と収益率アップを目指す

### ● 工事請負の拡大

- 鉄骨加工業者とのネットワーク構築の推進
- 施工管理者の育成強化
- 技術集団(職人等) の育成強化



**同業他社との差別化と収益向上を目指す**